TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

エフェソの信徒への手紙-恵みのスペクトル

光の中へ歩き出す　エフェソの信徒への手紙 5:8b-21 NKJV

2026 年 8 月 29 日 & 30 日
ジェシー・セザリオ　牧師

挨拶
TBC 西東京、TBC 三郷、スバ、トンガのバプテスト教会の皆さん、そして私たちと共に礼拝を捧げてくださる皆さん、こんにちは。父なる神と主イエス・キリストの恵みと平安が、皆さんと共にありますように！

はじめに
まず初めに、一つ質問させてください。もし私がニワトリと話せて、ニワトリに「ニワトリのように歩け」と言ったら、ニワトリはニワトリのように歩く方法が分からなくて戸惑うでしょうか？

考えてみてください。私がニワトリ語で「私のために歩いて」と言ったとします。すると、「私は自分がニワトリであることは分かっているし、歩き方も知っているけれど、ニワトリのように歩く方法は知らない」と応えると思いますか？その点を覚えておいてください。

さて、今日は再びエフェソの信徒への手紙第 5 章を取り上げます。8 節後半から 21 節までを解説します。パウロはエフェソの信徒たちにキリスト教徒としての歩み方を教えてきました。彼はエフェソの信徒への手紙 4 章から、実践的なキリスト教徒の生活について語り始めました。彼は言いました。

1 節 「ですから、主の囚人である私は、あなたがたに勧めます。招かれたあなたがたは、その招きにふさわしく歩み」
また、5 章 8 節ではこう言っています。「あなたがたは、以前は闇でしたが、今は主にあって光となっています。光の子として歩みなさい。」
光の子としてふさわしい生き方をするにはどうすればよいかを見ていきましょう。祈りましょう。

前回の続きとして、8 節後半から、パウロはエフェソの信徒への手紙を書いています。
8b～10 節「光の子として歩みなさい。――光の結ぶ実は、あらゆる善と義と真理との内にあるからです。――主に喜ばれるものが何かを吟味しなさい。」

これによれば、光の子である私たちは、主にとって何が受け入れられるかを見極めなければなりません。つまり、私たちが決断したり、行おうとしたりすることは、すべて神が私たちに望んでおられることと同じであるべきなのです。

でも、ほとんどの人は自分自身が何を望んでいるのかさえ分かっていないのに、ましてや神が何を望んでいるのかなど分かるはずもありません。また、神が何を望んでいるかを知っていると思い込んでいる人もいますが、それは完全に主観的な考えで、直感に基づいて勝手に作り上げたものです。これは聖書が教えていることではありません。

パウロは、私たちは自分の決断を吟味し、その決断が善、正義、真実へと導くものかどうかを判断しなければならないと言っています。なぜなら、善、正義、真実から外れるものは、主にとって受け入れられないものだからです。

イエス・キリストは王のなかの王、主のなかの主です。これらの称号の意味がお分かりでしょうか？それは、彼が全宇宙の究極の権威者であることを意味します。これほどの権威を持つイエスが、優柔不断で、自分が本当に何を望んでいるのか分からないなどと、想像できますか？

イエス・キリストは道であり、真理であり、命です。彼は自分が何を望んでいるかを間違いなくわかっています。問題は、あなたは神が何を望んでいるかを知っているかどうかです。

神が何を望んでいるかを知るために、パウロは非常にシンプルで実践的な方法を示しています。その方法は、闇を避けることです。11 節では、こう言っています。「 実りのない闇の業に加わらず、むしろそれを明るみに出しなさい。」
パウロが彼らを暴露すると言っているのは、あなたの中に宿る聖霊の力と確信を通して、あなたの霊的な感覚を用い、あなたが持っている光を彼らに照らし、闇との交わりを避けるという意味です。実際、すべての信者は、闇を経験することなく、あるいは他人に説明することさえすることなく、闇を避けるのに十分な霊的な力を持っています。

パウロが何と言い、警告しているかを見てください。「12 彼らがひそかに行っていることは、口にするのも恥ずかしいことなのです。13 しかし、すべてのものは光によって明るみに出されて、明らかにされます。」
そしてパウロは、それを実際に体験する必要も、詳細を説明する必要もないと言っています。むしろ、あなたが持っている光で吟味したときに、それが善、正義、真実を放っているならば、私たちはそれを知るでしょう。このような光を持つのは、信者だけです。聖霊を宿す者だけが、この能力を持っています。

ヨハネによる福音書 3 章 19 節
「 光が世に来たのに、人々はその行いが悪いので、光よりも闇を愛した。それが、もう裁きになっている。」

真の光はイエス・キリストから来ます。彼は光の担い手であり、光を与える者です。神の言葉では、イエスこう述べられています。
ヨハネによる福音書 1 章 9&12 節
「まことの光があった。その光は世に来て、すべての人を照らすのである。しかし、言は、自分を受け入れた人、その名を信じる人々には、神の子となる権能を与えた。」

そこで神の言葉は、まだ自分が何を望んでいるのかを知らないあなた方、そして神が何を望んでいるのかを知らない人々に呼びかけ、エフェソ 5 章 14 節でこう言っています。
「眠っている者よ、起きよ。／死者の中から立ち上がれ。／そうすれば、キリストがあなたを照らされる。」

聞く耳のある者は聞きなさい！迷える者たちよ、神はあなたたちに目を覚ますようにと呼びかけています！まだ確信が持てない人たちへ、神はあなたに呼びかけています。キリストの光を受け取れるように！これは、あなたが暗闇の中を手探りで進むのをやめるための、神からの招きです！

今日、神の光があなたに降り注ぐことを望みますか？さあ、床を担いで歩きましょう！

「15 そこで、知恵のない者ではなく、知恵のある者として、どのように歩んでいるか、よく注意しなさい。16 時をよく用いなさい。今は悪い時代だからです。」

さて、15 節から、してはならないこと、あってはならないことの三つの「～してはならない」という戒めに気づくでしょう。パウロは、悪に加担したり、闇と交わったりすることを避けるために、これらの三つのことをしてはならないと私たちに教えているのです。

邪悪を避けるための 3 つの戒め

15-16 節	愚かなことをしてはならない	しかし、賢明であれ（神の意志を理解せよ）
v.17	愚かなことをしてはいけない	神のご意志を理解しなさい
v.18	ワインで酔っ払ってはいけません	聖霊に満たされなさい

パウロは、この時代が悪に満ちていることを知っているので、私たちが今まさに霊的な戦いの時代にいることを思い出させる合図を再び出しているのです。パウロは、私たちの日常生活は慎重に歩むべきだと教えています。circum-は「周囲を」、spectly は「慎重に」という意味です。つまり、私たちの目で見るということです。周囲を見渡しながら歩くのです。

この語はギリシャ語「akribōs」に由来し、これは英語の acrobat（曲芸師）の語源となっています。曲芸師が講堂の天井を綱渡りする様子を想像してみてください。彼らは一歩一歩を完全に意識していなければなりません。一歩一歩、目の前のロープの上に正確に着地しなければなりません。ひとつの歩みには 2 つの目的がある。1 つは前進すること、もう 1 つは滑って転倒しないことです。

それぞれの歩みは賢明な決断をする機会です。 あるいは、賢明でない判断だったのもしれません。でも事態はさらに悪化します。なぜなら、そのような日々は邪悪で暗いものだからです。曲芸師が綱渡りをする時、その人を際立たせるために、客席の照明は消されます。

曲芸師は一歩一歩、暗闇の中を進みます。そして、その進んで行く足元を照らす唯一の光は、上空から照らされるスポットライトだけです。私たちが生きる環境は、決して友好的なものではありません。悪は至る所に蔓延し、私たちの歩む道は暗闇に包まれています。しかし、神の知恵はあなたの道を照らしてくれるのです。

詩篇 119 篇 105 節
「あなたの言葉は私の足の灯　私の道の光」

私たちが神の言葉を必要とする理由はここにあります。悪魔とこの世に働いている邪悪な勢力には目的があります。彼らの目的は、あなたを意図的に陥れることです。あなたを誘惑し、捕らえ、操り、彼らの悪をさらに広めさせようとしているのです。テモテへの手紙二 2 章 26 節には、こうして彼らは、悪魔に捕らえられて意のままにされていても、目覚めてその罠から逃れることもあるでしょう、と書かれています。

つまり、悪魔はあなたを人質に取り、自分の邪悪な意志のための駒にするために、積極的に罠を仕掛けているということです。ニュースで知る悪事は、どれほど衝撃的であっても、決して新しいものではありません。

ペテロが、ペテロの手紙一 4 章 3 節で何と言っているか見てみましょう
「かつてあなたがたは、異邦人の好みに任せて、放蕩、情欲、泥酔、馬鹿騒ぎ、暴飲、律法の禁じる偶像礼拝にふけってきましたが、もうそれで十分です。」

組織的な犯罪と大規模な犯罪は、この世界では古くから行われてきました。そして、邪悪な勢力はあなたを仲間に引き入れようとしています。だから、足元に気をつけ、主の知恵と御言葉に従って歩むのです。そうすれば、つまずくことはないでしょう。

霊的な戦いは、アベンジャーズの映画のラストのような一回きりの決戦ではなく、あなたが日々直面する戦いなのです。そしてその戦いにおいて、あなたは主によって照らされた道を歩むか、それとも闇につまずいて倒れ、闇に飲み込まれるかのどちらかを選ぶことになります。今まさに、あなたの心の中で、あなたの本性との戦いが繰り広げられています。しかし、それは神の言葉である福音の力によって成し遂げられるのです。人類の救済は、まず心から始まります。

インターネットには多くのマイナス面があることは間違いないでしょう。でも、今のインターネットの良い点のひとつは、責任感を醸成していることです。インターネットは人々の言動を記録するからです。まるで地球規模の意識と記憶のようなものです。だからこそ、インターネットに投稿する内容には注意が必要です。

数年前、私の父親にある紳士が連絡してきて、父が所属していたガレージバンド「アウター・リミッツ」の古いレコードを見つけたと言い、YouTube に公開する許可を求めてきました。父は「もちろん、いいよ」と答えました。今、彼のバンドの音楽はインターネット上で公開されています。AI に尋ねても、バンドのこと、その歴史や音楽、そして彼自身を含むメンバーのことまで知っています。これは本当にすごいことです。

でも、もしその人が古いレコードを買い取って、わざわざオンラインにアップロードしてくれなかったら、それは失われ、二度と日の目を見ることはなかったでしょう。ですから、今のところ、そして近い将来も、60 年前の 1960 年代の私の父のバンドの記憶が、父の名前とともに残っているのです。

父は人類の歴史記録の一部であり、おそらく人類が地球上で生き続ける限り、その記録は残るでしょう。空間と時間の流れの中で存在することは不可能です。そして、あなたが何に焦点を当て、何をするかによって、あなた自身が何者となり、何によって記憶されるかが決まります。

何かに集中することで、実際にあなたの人生は変化し、そのことに費やした時間を通して、あなたに重みと深みが加わるのです。星が誕生する仕組みって、実はこういうものです。ご存知でしたか？重力によって散在するガスや塵が一点の高密度な焦点に引き寄せられると、圧力と熱が蓄積され、核融合反応が起こり、光とエネルギーが放出されて誰もが目にすることができます。

イエスは言いました。**「そのように、あなたがたの光を人々の前に輝かせなさい。人々が、あなたがたの立派な行いを見て、天におられるあなたがたの父を崇めるようになるためである。」マタイによる福音書 5 章 16 節**

世の中には多くの悪人がいます。そして、彼らが人々の記憶に残り、永遠に語り継がれるのは、まさにその悪行のせいなのです。あなたはどうですか？ 歴史にどのような名を残すと思いますか？あなたはどのように時間を有効活用していますか？あなたは自分が何をしているのか本当に分かっていますか？

16 節でパウロは、悪を善に贖うようにと私たちに語っています。「贖う」という言葉は、キリストが私たち罪人を救いのために買い取ってくださったのと同じように用いられており、交換が行われていることを強調しています。物を交換する方法を知るにはどうすればいいのでしょうか？それには知恵が必要です。

知恵への道：

1.世俗的な知恵を捨て去る。
コリントの信徒への手紙一 3 章 18 節「誰も自分を欺いてはなりません。あなたがたの誰かが、自分はこの世で知恵ある者だと考えているなら、知恵ある者となるために愚かな者になりなさい。」

2.新しい、神の知恵を身につけなさい。
ヤコブの手紙 1 章 5 節「 あなたがたの中で知恵に欠けている人があれば、神に求めなさい。そうすれば、与えられます。神は、とがめもせず惜しみなくすべての人に与えてくださる方です。」

3.物事をありのままに理解する（善悪の区別）：
ローマの信徒への手紙 16 章 19 節 -「あなたがたの従順は皆に知られています。だから、私はあなたがたのことを喜んでいます。しかし、私はあなたがたが善にはさとく、悪には疎くあることを望みます。」

4.輝きを放ち、ありのままの自分を表現しよう。
コロサイの信徒への手紙 4 章 5 節 -「時をよく用い、外部の人に対して知恵をもって振る舞いなさい。」

そうすれば、あなたの光は輝き、あなたの善行は天におられる私たちの父をあがめるでしょう。あなたは星の一つのように、天の輝く印となるでしょう。それが私たちのすべきやり方です。そして、それがあなたが神のために輝く方法です。

5:17 節「だから、愚かにならず、主の御心が何であるかを悟りなさい。」さて、パウロは愚かであってはならず、むしろ賢くあれと教えた後、17 節で別の組み合わせを紹介します。

悪を避けるための 3 組の戒め

15-16 節	愚かであってはならない	しかし賢明であれ	取り除く vs. 取り入れる
v.17	愚かなことをしてはいけない	神の意志とは何かを理解する	善と悪
v.18	ワインで酔っ払ってはいけません	聖霊に満たされよ	

ローマの信徒への手紙 16 章 19 節を思い出してください。「あなたがたの従順は皆に知られています。だから、私はあなたがたのことを喜んでいます。しかし、私はあなたがたが善にはさとく、悪には疎くあることを望みます」パウロは善とは何かを深く理解しようと努めている一方で、悪に対しては単純な態度で接するようにと私たちに求めています。言い換えれば、悪を知るために悪と親しくなる必要はないのです。

正直に言うと、私は日本に移住する前は日本の文化についてあまり知りませんでした。アニメもあまり見なかったし、 J ポップスもあまり知らなかったし、歴史好きでもありませんでした。でも、日本に住む前から楽しんでいたこと、体験したことの一つが寿司です。寿司が大好きでした。

しかし、周知のとおり、アメリカの寿司は、ここで食べる本場の寿司とはかなり異なります。ある時、日本の義理の両親がテキサスに遊びに来たので、ダラスにある地元の寿司屋に行くことにしました。食事中、ウェイターは私たちが日本から来たことを知って、とても興奮しているようでした。それで、ウェイターはただそれだけの理由で、私たちに無料のサービスを持ってきてくれたのです。彼が最初に出したのは、2 つの揚げた寿司ロールでした。そう、揚げたてです。フランケンシュタインのような食べ物だったのを見て、義理の両親の顔に浮かんだ驚きの表情が今でも目に焼き付いています。

もしあなたが日本以外の場所で見ているのなら、残念ながら、日本で揚げ巻き寿司を見かけることはまずないでしょう。なぜなら、寿司ロールを丸ごと使い、生の魚を詰めて衣をつけ、マヨネーズとタイのホットソースをたっぷりかけて揚げるというのは、アメリカの発明だからです。日本では、そんなことは考えられません。

もし本場の寿司を味わいたいのなら、シラチャ―ソースとマヨネーズをたっぷりかけた揚げ寿司を食べ続けるべきでしょうか？そんなものを食べすぎると、最終的にはひどい腹痛を起こして、おそらく病院送りになるでしょう！でも、私は本当に恵まれていると思います。日本に来ていなかったら、違いなんて全く分からなかったでしょうから。

神の愛とは何かを知りたいなら、その愛に身を委ねる必要があります。それはただ読むだけでなく、他の信者があなたを愛してくれることを通して、そしてあなた自身も、他者に仕えることを通して体験する必要があるのです。本当に何かを深く知りたいなら…ただ食べて、誰にでも出してもらうだけではダメです…その源流に赴く必要があります。達人から調理法を学び、自分で調理して人に振る舞う必要があるのです。そうして初めて、真の本物とは何かを知ることができるでしょう。

問題は、あなたが師のように他人を愛しているか、そして師の教えがあなたを通して働くようにしているかということです。あなたはイエス・キリストにふさわしい者になっていますか？そうすれば、何が真実で、何が神の御心なのかが分かるでしょう。

エフェソの信徒への手紙 1 章 7～9 節 -「私たちはこの御子において、その血による贖い、すなわち罪の赦しを得ているのです。これは、神の豊かな恵みによるものです。神は、この恵みを私たちの上に溢れさせ、あらゆる知恵と思慮深さをもって、御心の秘義を私たちに知らせてくださいました。これは、前もってご自身でお決めになっていた御心によるものであって…」

私たちは知識という道具を持っています。問題は、それを使って何かを生み出し、社会に貢献できるかどうかです。皆さんの多くは、神が自分に何を望んでいるのかを知りたいという強い願望を持っています。献身的なクリスチャンになりたい、クリスチャンらしい生き方をしたいと願っているけれど、どうすればいいのか分からない。どう歩めばいいのか分からないのです。でもニワトリは歩きます。

イエスは言います。「起きて、床を担いで歩きなさい！」それだけでいいのです。他のことは何も心配しなくていい。ただ立ち上がって、どこへ行っても構わないのです。あとはイエスに導かれるままに任せるのです。時間を取り戻す機会は必ず訪れます。

ヨハネの手紙一 3 章 16 節 -「御子は私たちのために命を捨ててくださいました。それによって、私たちは愛を知りました。だから、私たちもきょうだいのために命を捨てるべきです。」あなたは、何かを知っています。さあ、実践しましょう。

5:17 をよく読んでください。

17「 だから、愚かにならず、主の御心が何であるかを悟りなさい。」

これは、神の意志がすでに私たちに与えられていないかのように、私たちが神から知るべきだという意味ではありません。むしろ、私たちが神からすでに知っていることから、神の意志が何であるかを理解するべきだということです。神は機会を与えてくださいます。

あなたは既に、神があなたに何を望んでいるかを判断する力を持っています。私たちはそれを使うのが上手ではないのです。なぜなら、実践していないからです。クリスチャンは、信仰を初めて抱いた時、救いを求めてイエス・キリストに信仰を置きます。彼らは、キリストだけが自分たちを救えると信じて、キリストのもとにやって来ます。神への信仰とは、あなた自身や他の誰も自分自身を救うことができないという事実を認め、理解することです。あなたは、イエスなしではもう生きていけないことを知っています。あなたはもう以前のあなたではいられません。あなたは、神があなたを贖い、あなたを神のものとし、永遠に神と共に生きるために、御子という犠牲を与えてくださったと信じています。ですから、その間、あなたは御霊と共に生きるのです。パウロはこう言っています。

「18 酒に酔ってはなりません。それは身を持ち崩す元です。むしろ、霊に満たされ、19 互いに詩と賛歌と霊の歌を唱え、主に向かって心から歌い、また賛美しなさい。20 いつも、あらゆることについて、私たちの主イエス・キリストの名により、父なる神に感謝しなさい。21 キリストに対する畏れをもって、互いに従いなさい。」

それでは 3 組目です。
悪を避けるための 3 組の戒め

15-16 節	愚かなことをしてはならない	しかし賢明であれ	Put-off 対 Put -on
v.17	愚かなことをしてはいけない	神の意志とは何かを理解する	善と悪
v.18	ワインで酔っ払ってはいけません	聖霊に満たされよ	表情豊かで活動的

ここでパウロは、聖霊に満たされることの意味について、いくつかの側面を説明しています。満たされるというのは受動的な命令です。つまり、それはあなたのために、あるいはあなたに対して行われるということです。

HS で満たされるには、
●詩篇、賛美歌、霊的な歌をもって互いに語り合いなさい
●主に向かって歌い、旋律を奏でなさい
●あらゆることに常に感謝しなさい
●互いに従順でありなさい

これらの単語はすべてギリシャ語では現在進行形の分詞です。つまり、 -ing で終わる動詞です。聖霊に満たされるということは、これらのことが実際に起こっていることを意味します。

これらが成就すると、あなたの内にはたらく聖霊が誰に目にも明らかになります。神の力が信者の中に宿っているということです。そして、その過程は注目に値します。なぜなら、詩篇、賛美歌、霊的な歌を互いに朗読することは、感動的であると同時に、教訓にもなるからです。そうして、私たちは共にそれらを学ぶのです。歌の歌詞を覚えた後、自然と何が起こるでしょうか？私たちはそれを歌い始め、メロディーを作り、主への礼拝として歌を捧げるでしょう。

そして、私たちが神を礼拝する時、神が私たちにしてくださったこと、そしてこれからしてくださることを思い巡らす時、私たちは感謝と賛美を捧げ始めるのです。そして、パウロとシラスが牢獄の中で行った時と同じように、あなた方も神の力を目にするでしょう。大地が揺れ、牢獄の扉が開きます。そして、神がこれまでなさったこと、そしてこれからなさることへの感謝の念から、私たちは互いに従順な心でし、愛し合うようになるのです。彼らが看守に対してそうしたように。それによって、看守は闇から抜け出し、キリストの光の中へと導かれたのです。

これこそが教会の本質です。教会の人々は聖霊に満たされ、それを実践するのです。家庭では、このような実践はできないでしょうか。とんでも

ありません！クローゼットやベッドやリビングから出て、椅子から立ち上がり、教会に来ましょう。最後のステップ、つまり互いに服従し合うところ
まで行かなければ、礼拝は完了しないのです。

「目覚めた、眠っている人、死者の中から蘇れ、そしてキリストがあなたを照らしてくださるでしょう！

あなたは主を畏れていますか？王のなかの王、主のなかの主を？
あなたは神の力と権威を尊重しますか？
あなたは本当に神を畏れていますか？
もしそうなら、あなたの人生には大きな力が満ち溢れ、喜びにあふれるでしょう。

初めて感電した時のことを今でも鮮明に覚えています。4 歳か 5 歳くらいの頃、私の母が台所を掃除機で掃除していました。掃除機を引っ張った拍子にコードも一緒に引っ張られ、コンセントからプラグが抜けてしまったのです。母を助けたかったので、プラグをつかんでコンセントに差し込もうとした。でも、先端のピンが外側に曲がっていて、うまく入りませんでした。そこで、片方のピンを差し込み、もう片方を指で押しこみました。

私は 50 歳ですが、あの瞬間を今でも鮮明に覚えています。衝撃と冷たさで目が覚めたあの感覚。今日に至るまで、電気の恐ろしさを忘れたことはありません。二度とコンセントのプラグの先端に触れることはないでしょう。でも、私は日常生活で常に電気を使っています。あなたもそうでしょう。私たちはほとんどあらゆることに電気を使っています。今日、電気は世界を照らしています。

私たちはそれで世界を動かすことができますが、決して忘れてはならないのは、それは非常に強力なので、あなたを死に至らしめる可能性もあるということです。私たちは主以外、何も恐れてはなりません。でも、私たちが神の御霊に満たされ、語り、歌い、賛美し、感謝し、互いに従順であるとき、まさにその時こそ、私たちは主の御心を行っているのであり、主の光を体験するのです。

聖霊は私たちを満たし、溢れ出る力を与えてくださいます！最初は光の子として、そして次に全世界が見守る丘の上に立つ教会として、世界を闇から救い出すために。聖霊に満たされることこそが、キリスト教徒の歩みです。

ペテロの手紙一 2 章 9 節「-しかし、あなたがたは、選ばれた民、王の祭司、聖なる国民、神のものとなった民です。それは、あなたがたを闇の中から驚くべき光の中へと招き入れてくださった方の力ある顕現を、あなたがたが広く伝えるためです。」自分の使命にふさわしい歩みをしてください。

招き
「イエスは再び言われた。『私は世の光である。私に従う者は闇の中を歩まず、命の光を持つ』。」ヨハネ福音書 8 章 12 節

また、こうも言いました。「光の子となるために、光のあるうちに、光を信じなさい。」ヨハネ福音書 12 章 36 節

暗闇から抜け出したいなら、イエスに従いなさい。彼こそが道です。彼に信仰を置けば、彼はあなたを暗闇から光へと導いてくれるでしょう。あなたが神の子となるのは、あなたが何かを成し遂げたからではなく、神があなたのために信仰を通してしてくださることによってです。

あなたが信じるなら、神の光はあなたの上に輝き、決して消えることはありません。神はあなたがどこにいようとも、永遠にあなたと共にいてくださいます。それは神の約束です。

祈りましょう。

ジェシー・マーク・セザリオ牧師
2026 年 8 月 29 日～30 日
東京バプテスト教会

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書　協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 2018

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール:cc@tokyobaptist.org
もしくは: https://gotbc.org/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
https://gotbc.org/tbclife

スモールグループ参加申込み

https://gotbc.org/sgsu

オンライン献金

https://jp.tokyobaptist.org/献金

SG レッスンの PDF

https://gotbc.org/sg3526jp

TBC カレンダー
（TBC のスケジュールが確認できます）
https://tokyobaptist.org/calendar

★クラス 101
教会員になるためのクラス
9 月 6 日(日)1:00 pm ～ 5:00 pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: どなたでも

★クラス 201
クリスチャンとして成長するために
9 月 20(日)1:00pm – 5:00pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: クラス 101 を修了したメンバーの方

全クラス申し込み:
gotbc.org/classes